

レイルウェイ 運命の旅路 (2013)

The Railway Man

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 オーストラリア／イギリス

色彩 Color

時間 116分

初公開日 2014/04/19

公開情報 KADOKAWA

映倫 G

【キャッチコピー】

人は、憎しみを
断ち切れる。

【解説】

太平洋戦争当時、日本軍は補給路確保のため、タイとビルマを結ぶ鉄道“泰緬（たいめん）鉄道”の建設に乗り出す。その際、日本の捕虜となった連合軍兵士も建設に動員され、劣悪な環境の中で多くの死者を出すなど“死の鉄道”と呼ばれて戦後に国際的な問題となった。本作は、そんな英国兵捕虜の一人エリック・ローマクスが自らの過酷な捕虜生活と、憎しみの対象であった日本人通訳・永瀬隆との奇跡の再会と和解を綴った自叙伝『泰緬鉄道 癒される時を求めて』を映画化したヒューマン・ドラマ。後年のエリック・ローマクスとその青年時代を演じるのは「英国王のスピーチ」のコリン・ファースと「戦火の馬」のジェレミー・アーヴァイン、一方の永瀬隆役には、それぞれ真田広之と石田淡朗。共演にニコール・キッドマン、ステラン・スカルスガルド、サム・リード。監督はオーストラリア出身のジョナサン・テプリツキー。

鉄道オタクの初老男性エリック・ローマクスは、列車の中で出逢った女性パトリシアと恋に落ち結婚する。幸せな結婚生活を送る2人だったが、ほどなくパトリシアはエリックが第二次大戦のトラウマにいまも苦しめられていることを知る。英国軍兵士だった彼はシンガポール陥落の際に日本軍の捕虜となり、鉄道建設に駆り出されて悪夢のような日々を送ったのだった。彼の苦しみを癒そうと献身的に支えるパトリシア。そんな中、退役軍人仲間から、憎き日本軍の通訳・永瀬隆が今も生きてタイに暮らしていると知らされ、動揺を隠せないエリックだったが…。

【クレジット】

監督	ジョナサン・テプリツキー	Jonathan Teplitzky
製作	アンディ・パターソン	Andy Paterson
	クリス・ブラウン	Chris Brown
	ビル・カービシュリー	Bill Curbishley
製作総指揮	クローディア・ブリュームフーバー	Claudia Blümhuber
	イアン・ハッチンソン	Ian Hutchinson
	ジギー・カマサ	Zygi Kamasa
	ニック・マンジー	Nick Manzi
	ダリア・ジョヴィチッチ	Daria Jovicic
	アナンド・タッカー	Anand Tucker

原作	エリック・ローマクス	Eric Lomax	
脚本	フランク・コットレル・ボイス アンディ・パターソン	Frank Cottrell Boyce Andy Paterson	
撮影	ギャリー・フィリップス	Garry Phillips	
プロダクション デザイン	スティーヴン・ジョーンズ=エヴァンズ	Steven Jones-Evans	
衣装デザイン	リジー・ガーディナー	Lizzy Gardiner	
編集	マーティン・コナー	Martin Connor	
音楽	デヴィッド・ハーシュフェルダー	David Hirschfelder	
出演	コリン・ファース	Colin Firth	エリック・ローマクス
	ニコール・キッドマン	Nicole Kidman	パトリシア・ローマクス
	ジェレミー・アーヴァイン	Jeremy Irvine	若きエリック
	ステラン・スカルスガルド	Stellan Skarsgard	フィンレイ
	サム・リード	Sam Reid	若きフィンレイ
	石田淡朗		若き永瀬
	真田広之	Hiroyuki Sanada	永瀬隆